

平成 29 年度成果報告 もっと元気に戦略室総括

もっと元気に戦略室で実施した事業の内、主要事業及び新規事業等について記載する。

- 第 10 次南木曾町総合計画を策定した。総合計画は、「南木曾を元気に 住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曾町」を基本理念に掲げ、平成 30 年度を初年度とし、平成 39 年度までの基本構想と平成 34 年度までの基本計画を示した。
- 平成 30 年度から平成 34 年度までの辺地計画を策定した。辺地箇所は、与川・柿其・蘭・広瀬・粟畑 向粟畑・大野正兼・塚野の 7 辺地である。
- 定住化を推進するため、南木曾町宅地造成事業特別会計を設置し、読書天白地区にミニ宅地造成事業を実施した。造成区画は 3 区画で来年度当初に募集を行う。
- 空家の適正な管理を促進するため、南木曾町空家対策等対策協議会を設置し、平成 30 年度から平成 34 年度までの空家等対策計画を策定するとともに、空家の有効活用と危険住宅の除却目標を定めた空家等対策総合実施計画を策定した。
- 地域バスを運行した。利用者は、55,623 人 前年比 215 人増、利用料 26,318 千円 前年比 114 千円減となった。これは、通院バスへの乗継割引の利用者 1,852 人 前年比 606 人増によるものである。また、運転免許書返納者を支援するため、お楽しみカード会への加入料と年会費を運行業者に助成し、商品券での回数券購入をできるように改善した。
- 中津川市公立病院改革プランが示され、プランに沿って坂下病院の機能が縮小される中で、木曾地域広域連携推進会議(事務局 木曾地域振興局)が中心となって、木曾町・上松町・大桑村・南木曾町による広域幹線バス「木曾病院線」の試験運行を 11~12 月に行った。また、1 月には木曾振興局が木曾病院までの乗合タクシーを運行した。利用者は往路延人数で 11 月 14 人、12 月 11 人、1 月 4 人となった。
- リニア中央新幹線対策協議会を開催し、水道水源、工事用道路、非常口の用地、発生土置き場、山口工区、電源供給等について審議した。特に、J R 東海が長野県水環境保全条例に基づき県知事に提出した妻籠水道水源保全地区内行為事前協議書に対する審議を行い、町から県知事に意見書を提出した。長野県環境審議会の審議の答申を受け、県知事は事前協議書に対し条件付きの同意書を送付した。
- ふるさと納税制度の一層の利活用を図るため、インターネットを活用した申込み制度を導入した。寄付額は、7,845 千円 前年比 6,219 千円増となった。返礼品は、制度の趣旨を逸脱しない範囲で登録を行った。
- 地域おこし協力隊は、平成 29 年 4 月に 3 名採用し 6 名での活動となった。また、平成 30 年 3 月には、2 名が任期満了し退職した。2 名とも家族も含め南木曾町に定住することができた。
- 地方創生事業「若者意見交換会」を開催し、町政に対する若者の意見を把握した。
- 補助事業等つなぎ資金貸付基金を 5,000 千円増額し、総額 15,000 千円とした。
- 平成 30 年度から 5 年間の木曾広域自立圏形成連携協約を木曾 6 町村で締結した。

4. もっと元気に戦略室所管

1. 企画関係

(1) 計画策定状況

○策定計画

- ・第10次南木曾町総合計画 基本構想（平成30年度～平成39年度）
- ・第10次南木曾町総合計画 基本計画（平成30年度～平成34年度）
- ・辺地総合整備計画（平成30年度～平成34年度）
- ・総合計画の見直しを行ったため、過疎対策事業に対する各種財政措置を受けるための、過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度）の変更を行った。
- ・平成30年度以降の実施計画を策定した。（平成30年度～平成32年度）
- ・まち・ひと・しごと創生法に基づき、集中的に事業展開していくため、地方創生総合戦略の見直しを行った。（平成27年度～平成31年度）

○計画の策定

- ・第10次南木曾町総合計画を策定した。

平成29年 9月22日 審議会設立 町より諮問

第1回南木曾町総合計画審議会

平成29年 9月26日 議会全員協議会へ開催報告 第9次総合計画自己評価説明

平成29年10月10日 第2回南木曾町総合計画審議会

平成29年10月19日～平成29年10月30日 町政報告会（7地区）

平成29年10月17日～平成29年11月9日 パブリックコメント

平成29年11月27日 第3回南木曾町総合計画審議会

平成29年12月19日 議会全員協議会へ計画案説明

平成29年12月28日～平成30年1月13日 パブリックコメント

平成30年1月31日 第4回南木曾町総合計画審議会

平成30年2月21日 総合計画審議会より町へ答申

平成30年3月6日 議会全員協議会へ答申内容説明

平成30年3月27日 議会提出 同日可決

- ・辺地総合整備計画を策定した。

○策定済計画

- ア. 南木曾町実施計画（平成30年度～平成32年度）
- イ. 第4次木曾地域振興構想（平成30年度～平成39年度）
- ウ. 南木曾町過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度）
- エ. 南木曾町地方創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）

(2) まちづくり会議・地域振興協議会等の開催状況

○まちづくり会議関係

第1回まちづくり会議（平成29年6月8日）

- ・地域づくり支援事業補助金について

第2回まちづくり会議（平成29年8月21日）

- ・第10回南木曾町総合計画審議委員の選定について

○地域づくり支援事業補助金（町補助金）

（単位：円）

事業名	振興協議会	事業費	補助金	主な事業内容
地域小型除雪機導入事業	妻籠	415,000	415,000	小型除雪機導入（1台）
東山公園環境整備事業	三留野	610,200	153,200	東山公園の整備事業
南木曽ろくろ細工記録保存事業	広瀬	300,240	290,000	16mmフィルムをDVD、BRへデジタル保存
田立地域防災・救命体制づくり事業	田立	598,752	145,752	防災資機材の購入 （テント、毛布、AED）
計		1,924,192	1,003,952	

※4団体4事業 総事業費1,003,952円の補助金を交付した。

○地域振興協議会関係

1) 町政報告会関係

日程・開催場所

平成29年10月19日（木）～30日（月）【7地区】19時～ 参加者合計：184人

- ・10/19（広瀬） ・10/20（田立） ・10/23（蘭） ・10/25（妻籠）
- ・10/26（与川） ・10/27（北部） ・10/30（三留野）

内 容

- ・木曽病院からのお知らせ
- ・地域おこし協力隊の活動報告
- ・地域医療・通院バス（木曽病院線）について
- ・中津川市公立病院（坂下病院）について
- ・リニア中央新幹線整備について
- ・第10次総合計画の策定について
- ・その他（各課報告事項）

2) お気軽ミニ集会

町長が直接住民からの声を聞く場として、「お気軽ミニ集会」を9回開催した。

日程・開催場所

開催日	時間	場所	対象地区	参加者数
平成29年 4月18日（火）	19：00～	上嵯峨屋	寺下	12
平成29年 4月23日（日）	11：00～	川向集会所	川向	45
平成29年 5月28日（日）	19：30～	喜楽庵	下町	18
平成29年10月 2日（月）	19：00～	上の原集会所	上の原	11
平成29年10月 6日（金）	19：00～	新道 茶屋	新道	7
平成29年11月21日（火）	19：00～	神戸集会所	神戸	14
平成29年12月12日（火）	10：00～	若葉荘	蘭老人クラブ	24
平成30年 1月 6日（土）	11：30～	上在郷集会所	上在郷	13
平成30年 3月24日（土）	18：30～	天白集会所	天白	27
計		9箇所		171人

3) 地域振興協議会会長会議（全体区長会に合わせて開催）

第1回 5月18日（場所：南木曾会館会議室）

- ・地域振興協議会要望のとりまとめについて

第2回 12月11日（場所：南木曾会館会議室）

- ・地域振興協議会要望書への回答について

(3) 木曾森林管理署南木曾支署との行政懇談会

開催日：7月20日（木） 28名出席

- ・森林管理署 北蘭国有林 額付本谷復旧治山工事、ヌスビト沢治山工事
- ・平成29年度主要事業の概要、要望、回答

(4) 木曾・下伊那・中津川地域県際交流協議会

7月24日（月） 総会・情報交換会・現地視察（会場：南木曾町）

- ・各自治体での喫緊の課題について意見交換がされた。
- ・南木曾町観光資源めぐり「妻籠宿」現地視察が行われた。

(5) 入札参加資格審査委員会

第1回	平成29年5月1日	5案件	第2回	平成29年5月16日	3案件
第3回	平成29年5月24日	3案件	第4回	平成29年6月7日	3案件
第5回	平成29年6月19日	2案件	第6回	平成29年7月19日	2案件
第7回	平成29年8月1日	1案件	第8回	平成29年9月4日	1案件
第9回	平成29年11月27日	1案件	第10回	平成29年12月18日	2案件
第11回	平成30年1月29日	1案件	第12回	平成30年3月19日	1案件
			合計	12回	25案件

(6) 定住、空き家対策の検討

○移住・定住対策

南木曾町の公式ホームページのスマートフォン対応に伴い、移住定住に特化したコンテンツを作成し、空家バンクへの登録更新等、継続的に運営を行った。

また、長野県が主催する「田舎暮らし『楽園信州』協議会」が運営するポータルサイトもリニューアルが行われ、南木曾町紹介ページの再構築を行った。これらのサイトを通じて移住・定住に関する情報発信を行った。

平成28年度繰越事業費により、宅地分譲に伴う候補地の基本調査を町内の読書地区を中心に計6箇所の調査を実施した。

このほか、南木曾町内への若者定住対策として宅地造成事業を実施し、読書天白地区に用地を購入し造成事業を実施した。平成30年度より分譲希望者募集を行う予定。

直接的な移住者への情報発信としては、「楽園信州」を始め様々な移住相談会に参加し、田舎への移住を検討している方々へ向けて南木曾町を移住先として選んでもらえるよう、町の魅力をPRするとともに移住相談や就労相談を行った。

平成29年度は楽園信州移住セミナーに参加、および田舎へ移住検討している希望者に南木曾町へ実際に来ていただき町の雰囲気を知っていただくイベントを商工観光係と共同開催し、PRを行った。

- ・平成 28 年度（繰越）宅地分譲等に伴う候補地基本調査 1,846,800 円
- ・移住相談会の参加状況
 - 1) 楽園信州「信州で暮らす、働くフェア」
 - 日程：平成 29 年 7 月 8 日
 - 場所：東京交通会館（東京都）
 - 2) 楽園信州移住セミナー
 - 日程：平成 29 年 11 月 18 日
 - 場所：中日ビル（名古屋市）
 - 3) 全国町村会「町イチ！村イチ！2017～町村から日本を元気にする～」
 - 日程：平成 29 年 12 月 2 日～3 日
 - 場所：東京国際フォーラム（東京都）
 - 4) 移住定住相談会（信州 南木曾町を見てみよう見学会）※商工観光係との共催事業
 - 日程：平成 30 年 2 月 10 日～11 日
 - 場所：南木曾町

○空き家対策等

平成 30 年 3 月に「南木曾町空き家等対策協議会」を開催し、南木曾町空き家等対策計画と空き家対策総合実施計画の策定を行い、国の補助事業等を活用し計画的に空き家の利活用と除却の促進を図り、所有者への空き家問題に関する意識の涵養や、危険な空き家を除却することで、地域住民が安全に生活できる環境を整えることとした。また、活用を目的とした整備を行うべく、妻籠宿内の空き家（2 件）について調査を実施した。

継続的に空き家情報登録制度要綱（空き家バンク）に基づき、空き家情報の収集・提供を行ったほか、地域への情報提供や各地区からも情報をいただき Web サイトで公開を行った。

しかし、物件の情報登録数・利用希望者数は伸び悩み、空き家の利活用推進に大きな効果をあげていない。この状況を改善するため、空き家の利用者に対する修繕費の助成と所有者の片付け費用の助成制度を実施しているが、利用が少なかったため、今後も広報等で周知を行う必要がある。

また、平成 27 年度の条例改正により所有者が自主的に空き家を除却する状況も少しずつ進んでいるものの、空き家の発生件数がこれを上回り、依然として空き家の増加は進んでいる。

空き家の適正な管理に対する相談も数件寄せられ、状態の良い物件については空き家バンクや空き家利活用補助金の紹介をしているが、ほとんどの所有者が遠方であるため早急に根本的な解決に繋がる事は困難であった。なお、利活用困難な空き家については、所有者と相談し空き家バンクへの登録や除却のアドバイス等を実施した。

- ・妻籠宿空き家利活用基本調査業務 779,200 円
- ・空き家情報登録制度（空き家等バンク登録数）実績

年度	登録物件数(戸)	利用希望者数(人)	成約数※(戸)
平成 25 年度	3	4	1
平成 26 年度	1	7	2
平成 27 年度	4	6	1
平成 28 年度	1	3	1
平成 29 年度	2	1	0

※情報が寄せられた物件で、バンクを通さずに貸借が行われたものも含む。

・南木曾町内の空家の状況

地区	29年度末	28年度末	27年度末	26年度末
与川	15	15	14	12
北部	10	10	10	8
三留野	91	91	88	78
妻籠	42	39	38	36
蘭	79	77	78	80
広瀬	35	34	33	32
田立	34	32	29	27
計	306	298	290	273

※「空家」はその建物で常時生活している者がいない住宅とし、店舗・工場は含んでいない。
また倉庫として使用されているものや季節的・一時的に利用されているものを含む。

・空き家利活用推進補助金の利用実績（改修修繕補助・片付補助）

年度	件数	申請事業費	補助金額
平成29年度	2件	2,355,094円	551,000円

※改修補助1件、片付補助1件

(7) 広報

○広報なぎそ 12回発行 365～376号 発行部数 2,000部/1回

No	主な内容
365	当初予算 平成28年度町の主な事業 職員・教職員人事異動 町の組織機構と職員配置 南木曾町の子育てサポート 3月定例会・全員協議会
366	いじめ防止等のための基本方針策定 自動車税は5月中に収めましょう 町長対談 町長発信
367	日頃から災害に備えましょう リニア対策協議会開催 生活相談支援事業のご利用について 「軽トラ市場」なぎそグリーンマーケット 妻籠健康マラソン大会 5月全員協議会
368	健診受けようキャンペーン実施中！ 南木曾町健康講演会を開催します 「信州グスティネーションキャンペーン」開催中です COOL CHOICEに賛同しています 6月定例会・全員協議会
369	7・9 南木曾町豪雨災害から3年 防災の誓い新たに リニア対策協議会開催 長野県計量モニターを募集しています
370	防災訓練を実施 南木曾町人事行政の運営状況等のお知らせ 健診受けようキャンペーン実施中！ 「なぎそ・おたすけ隊」について 成人記念行事
371	平成28年度決算状況 決算審査意見書 医療アンケート結果報告 リニア対策協議会開催 花馬祭り 300年記念祭 脇本陣奥谷開館50周年 9月定例会・全員協議会
372	南木曾町表彰式 町政報告会開催 木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭開催 保育園入園のご案内 3010運動 消防団員募集
373	平成29年4月からの出来事 文化文政風俗絵巻之行列が行われました だいどうの森の森林整備が行われました
374	年頭あいさつ 平成29年主な出来事 消防団出初式 国保保健事業実施報告 子育て支援事業実施報告 12月定例会・全員協議会
375	名古屋市で観光トップセールス実施 スローフードフェスタ 妻籠宿保存50周年記念式典開催 思春期託児体験事業を実施しました 公民館大会
376	若者意見交換会開催 町税等の納付について 「健康寿命」をのばすために、住民の皆さんの健康づくりを応援します 第1回臨時会

○南木曾町ホームページ関係

- ・木曾広域連合の Web サイト管理システムにより、ホームページの記事編集・掲載を行った。
- ・トップページへのアクセス数は微減傾向で、部局毎のコンテンツ量に著しく偏りがある傾向が継続している。
- ・今後とも各部局で一層のコンテンツの充実に努めていく必要がある。
- ・平成 29 年度 南木曾町 Web サイトのアクセス数 () 内は対前年度比

トップページ	行政・観光	合計	106,064 件	(△19,411 件)
	うち行政サイト		56,017 件	(△18,451 件)
	観光協会サイト		50,047 件	(△960 件)

※コンテンツ全体の総アクセス数	合計	717,671 件	(△ 82,166 件)
	行政サイト	167,433 件	(△128,207 件)
	観光協会サイト	550,238 件	(46,041 件)

(8) 地域発元気づくり支援金事業 (町内分)

事業名	団体名	事業費 (円) (要望時)	支援金 (円)	主な事業内容等
重伝建妻籠地区の存在価値伝承・再認識促進事業	南木曾町	2,325,823	1,746,000	リーフレットの作成
木曾谷・郷土料理デザイン・プロモーション事業	南木曾町	1,864,739	1,447,000	郷土料理を中心としたプロモーション
国際観光地を目指した中山道と南木曾駅周辺観光地魅力アップ事業	南木曾町	2,634,984	2,021,000	案内看板などの整備
妻籠宿保存 50 周年記念事業	妻籠を愛する会	2,620,148	1,713,000	妻籠宿保存50周年記念式典の実施
田立花馬祭り 300 年記念事業	田立花馬保存会	3,027,380	2,350,000	花馬祭り300年記念祭の実施
えごまを用いた薬草栽培事業	南木曾薬草の会	948,910	758,000	薬草栽培の活性化に向けた取り組み
田立地域防災・救命体制づくり事業	田立地域振興協議会	598,752	453,000	田立地区内での防災救命機器の設置
オール南木曾！運動推進プロジェクト	南木曾チャレンジクラブ	2,325,823	1,746,000	トレーニング設備の整備
南木曾町内のリサイクル事業	南木曾町社会福祉協議会	577,800	385,000	リサイクル用機械の導入
東山公園環境整備事業	三留野地域振興協議会	610,200	457,000	東山公園の再生・環境整備
和楽器演奏会・和楽器体験等の交流で地域活性化委事業	神楽組	2,029,354	1,609,000	和楽器などの購入
消えつつある「水車」設置事業	神戸神親会	1,792,800	1,344,000	かぶと観音へ水車の設置
南木曾町に行きたくなる南木曾ろくろ細工パンフレット制作	南木曾ろくろ工芸協同組合	1,296,000	1,036,000	パンフレット作成
合 計 13 事業	11 団体	22,652,713	17,065,000	

(9) 補助事業等つなぎ資金貸付

県等補助事業に伴う町の「補助事業等つなぎ資金」貸付金制度の貸付を行った。

補助事業名	貸付団体	貸付額(円)	貸付期間
総合型地域スポーツクラブ自立支援事業補助金 (公益財団法人 日本体育協会)	なぎそ チャレンジクラブ	1,960,000	H29. 11. 20～H30. 7. 13
地域発元気づくり支援金事業	神楽組	1,609,000	H29. 7. 12～H30. 4. 6
地域発元気づくり支援金事業	南木曾薬草の会	758,000	H29. 10. 20～H30. 4. 27
地域発元気づくり支援金事業	田立花馬祭り 保存会	2,000,000	H29. 7. 11～H30. 4. 11
地域発元気づくり支援金事業	三留野地域振興 協議会	457,000	H29. 7. 19～H30. 2. 20
地域発元気づくり支援金事業	神親会	1,344,000	H29. 9. 7～H30. 2. 14
地域発元気づくり支援金事業	ろくろ組合	1,036,000	H29. 10. 6～H30. 2. 9
鳥獣被害防止総合対策交付金	南木曾町有害鳥獣 対策協議会	1,433,000	H30. 2. 14～H30. 4. 18
合 計	8団体	10,597,000	

(10) 地域バス対策関係

◎地域公共交通協議会運営（地域バス・乗合タクシー）分

・第1回南木曾町地域公共交通協議会（7月27日）

- 平成28年度南木曾町地域公共交通協議会事業報告について
- 平成28年度南木曾町地域公共交通協議会歳入歳出決算について
- 平成29年度南木曾町地域公共交通協議会事業計画について
- 平成29年度南木曾町地域公共交通協議会歳入歳出補正予算について

・第2回南木曾町地域公共交通協議会（3月5日）

- 平成29年度実証運行実績（見込み）について
- 平成29年度南木曾町地域公共交通協議会歳入歳出決算見込みについて
- 平成30年度南木曾町地域公共交通協議会事業計画及び歳入歳出予算（案）について

・地域バス・乗合タクシー運行関係

平成29年度の事業実績について

運行経費： 年間 33,950,850 円 前年 33,643,600 円 (0.9%増)

料金収入： 年間 21,800,313 円 前年 21,750,852 円 (0.2%増)

○バス利用状況（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
保神線	2,076	2,143	1,507	1,755	2,194	1,969	2,231	2,008	1,118	993	1,055	1,576	20,625	21,312
馬籠線	3,725	3,998	1,921	2,664	3,636	2,945	3,939	3,644	1,103	712	807	2,019	31,113	30,476
（高料金利用者）	(2,199)	(2,425)	(1,141)	(1,434)	(1,909)	(1,707)	(2,193)	(2,221)	(611)	(376)	(465)	(1,208)	(17,889)	(18,132)
与川線（混乗）	32	38	28	36	28	27	39	21	8	6	11	15	289	320
北部線（混乗）	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
田立線	288	281	311	297	248	293	380	273	293	264	291	356	3575	3,297
計	6,121	6,460	3,767	4,756	6,106	5,234	6,589	5,946	2,552	1,975	2,164	3,966	55,606	55,408

○乗合タクシー利用状況（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
北部線	3	7	7	4	9	8	7	2	7	3	3	2	62	76
与川線	35	41	37	42	37	39	41	29	36	23	33	64	457	512
田立線	13	13	14	7	5	7	16	24	19	22	16	20	176	107
広瀬線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
蘭線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	51	61	58	53	51	54	64	55	62	48	52	86	695	697

○乗継優遇制度利用状況（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
北部線	0	7	5	4	1	4	5	0	1	0	3	2	32	58
与川線	23	23	20	32	15	10	39	12	9	4	17	19	223	226
田立線	8	7	7	4	2	5	9	3	3	1	3	8	60	75
保神線	29	44	59	45	51	45	47	44	46	41	48	66	565	521
馬籠線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タクシー	73	61	73	74	77	87	104	88	94	68	76	97	972	366
計	133	142	164	159	146	151	204	147	153	114	147	192	1852	1,246

○地域バスの乗継優遇制度

平成26年度から実施し、バス利用者の負担軽減を行った。（軽減額555,600円）

○町運営（スクールバス・通園バス）分

運行経費 年間 28,414,800円 前年 27,032,400円

○長野県運行広域連携バス試験運行（木曽病院線）

広域バス路線の共同運行による運営の効率化や利便性の向上に向けた検討を行う為、平成29年11月1日から12月28日まで（土日祝日は除く）の1日1往復の定期路線バスの運行、平成30年1月は予約制デマンドタクシーの運行を行った。田立駅を出発し町内各地、大桑村、上松町、木曽町のバス停を経由し木曽病院を経由し終点は木曽合庁という路線で行った。

利用者は、定期バスについては、木曽病院方面は53人の利用があり、そのうち南木曽町で乗車した人は11人だった。南木曽方面は65人の利用があり南木曽町で下車した人は13人となった。1月運行のデマンドタクシーは、木曽病院方面は6回運行し、9名の利用者がおり、南木曽町での乗

車は3人、南木曾方面は5回運行し、7人の利用で、南木曾町で下車した人は1人であった。

平成30年度には、木曾広域自立圏形成連携協約の事業としての実施に向け、体制や運行に向けた協議が実施されることとなっている。

(11) 木曾広域ケーブルテレビ整備事業

木曾広域連合・町村情報担当者会議に参加し、ケーブルテレビ事業の運営等について検討した。ケーブルテレビ契約数は、一般世帯の契約数は減少傾向にある。また、インターネット契約数については、ライトプランの加入者が多かったが、Windows10の導入によりスタンダードプランに切り替える加入者が増えてきている。しかし、NTTフレッツ光への契約者流出により、収支が悪化する傾向にあるため、音告を始めとした設備更新を控え今後の運営が懸念される。

南木曾町の自主放送では、引き続き文字放送のほか、CATV連携システムによる情報配信を行った。

○木曾広域ケーブルテレビ加入状況

・CATVの契約数

ケーブルテレビ加入数	平成30年3月末	平成29年3月末	増減
一般世帯	1,518	1,526	△8
個人・法人事業所	79	77	2
公的機関	33	32	1
その他(賃貸住宅・別荘・休止中)	266	280	△14
計	1,896	1,915	△19
音声告知のみ(外数)	74	74	0

インターネット契約数(平成30年3月末時点)・・・584件(前年度617件)

(12) 男女共同参画

①特定事業主行動計画策定

南木曾町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定

計画期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日

②啓発活動

・男女共同参画週間について広報なぎそ・ケーブルテレビでPRし、啓発に努めた。

③男女共同参画関係調査への協力

・町における女性の公職参画状況調査

・町における女性関係施策の推進状況調査

(13) 地域活動助成事業

宝くじの社会貢献広報事業として、長野県市町村振興協会から地域活動等の支援を目的に交付される助成金で、平成29年度は下記の事業を実施した。

○コミュニティ助成事業

(単位：円)

助成対象事業名	総事業費	助成金充当額	備 考
財自治総合センター分 一般コミュニティ助成事業 事業主体：田立歌舞伎保存会	1,753,704	1,700,000	歌舞伎用ステージ、舞台設備、舞台照明 設置場所：田立社会教育施設
市町村振興協会分 一般コミュニティ助成事業 事業主体：和智塾神社夏祭り 実行委員会	2,505,060	2,500,000	かんたんテント 6 張、テント 横幕 6 張、加重プレート 36 個、 ガスフライヤー 1 台、テーブル 20 脚、アルミベンチ 5 脚、折 畳イス 60 脚 設置場所：妻籠分館
2 件	4,258,764	4,200,000	

(14) 電源立地地域対策交付金事業

水力発電施設所在市町村等が地域振興等のために行う事業に対する交付金で、平成 29 年度は保育所運営経費、小型動力ポンプ付普通積載車購入、消防指令車購入に充当した。

総事業費	31,069,180 円
交付金交付限度額	28,918,000 円

(単位：円)

交付対象事業名	総事業費	交付金充当額	備 考
保育所運営事業	15,090,600	14,418,000	
小型動力ポンプ付普通積載車購入事業	10,648,800	10,300,000	
消防指令車購入事業	4,752,000	4,200,000	
合 計	30,491,400	28,918,000	

(15) リニア中央新幹線への対応

リニア中央新幹線（超電導磁気浮上方式）は、平成 23 年 5 月に全国新幹線鉄道整備法に基づき、J R 東海が営業主体及び建設主体に指名され、「中央新幹線整備計画」が決定した。

町では、事業に伴う住民リスクの低減のため、J R 東海との交渉の窓口となる南木曾町リニア中央新幹線対策協議会を平成 26 年 7 月に設置しリニア事業に係る様々な課題について協議を行い J R 東海との交渉を行ってきている。対策協議会では、工事実施前に環境保全措置等について J R 東海に協定書・確認書の締結を求めており、引き続き協議を行った。広瀬非常口については、工事用ヤードの用地・地形測量及び工事用道路の調査が行われ計画案が示されました。また尾越非常口については、用地・地形等の測量が行われましたが具体的な計画案は示されませんでした。水資源については、県の条例に基づく妻籠水道水源保全地区内のリニア工事に係る事前協議書が J R 東海から県知事に平成 29 年 4 月 7 日に提出されました。県では環境審議会及びその専門部会で延べ 8 回の審議が行われました。町からは、県に対し水源保全を求める意見書を提出するとともに、町長をはじめ関係職員が出席し意見等を述べました。県知事は、環境審議会からの答申を平成 30 年 3 月 13 日に受け、妻籠水道水源保全地区内でのリニア工事に對し、水道水源を保全するための条件を付して、J R 東海に平成 30 年 3 月 27 日に同意書を送付しました。発生土置き場については、今後 J R 東海が候補地並びに運搬

ルートを選定し地元説明後に対策協議会に承認を求める運びになっている。

○平成 29 年度のリニア中央新幹線対策協議会の協議経過

- 5月24日 第20回 妻籠水道水源・非常口地形地質等の測量について
- 7月10日 第21回 妻籠水道水源に関する県知事への意見書等について
- 9月19日 第22回 妻籠水道水源・発生土置き場・広瀬非常口等について
- 3月19日 第23回 妻籠水道水源に関する答申・山口工区の状況・リニア工事への電源供給等について

(16) ふるさと南木曾応援寄付金（ふるさと納税関係）

平成 26 年度から、寄付者にお礼として南木曾町の特産品を送ることとし、町ホームページでPRするとともに、平成 29 年9月からは、株式会社さとふるに業務委託し、インターネット媒体を活用したふるさと納税申し込み業務を開始することで、寄付者の利便性向上や寄付件数増加を図った特産品については、ふるさと納税の趣旨を逸脱しない範囲、また、町内で生産及び収穫された特産品という考え方で、町内業者に呼びかけ説明会を行い、返礼品の登録業務を行った。

○年度別 応援寄付金 受納実績

年度	件数(件)	金額(円)
平成 29 年度	290	7,845,000
平成 28 年度	46	1,626,001
平成 27 年度	101	7,073,000

○平成 29 年度充当内訳 (単位：円)

充当事業名	事業費	寄付金充当額
避難所テレビ導入(7分館)	350,000	350,000
防災対応PC, タブレット導入	300,000	300,000
合計	650,000	650,000

(17) 地域おこし協力隊

○制度の概要

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」「人とのつながりを大切に生きていきたい」「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」。今、都市に住む人達の中には豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた「地方」に注目している。

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移して生活の拠点を地方に置いた者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで地域力の維持・強化を図っていく取り組みである。

○実施主体は南木曾町

町では、平成 26 年度から地域おこし協力隊の制度を取り入れた。町の臨時職員として採用し、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発販売・農林漁業への参加・住民の生活支援などの各種の地域活動に従事、あるいは自らの経験と技能を生かしながら起業して、当該地域への定住・定着を図っていく。

○第1期隊員 平成 26 年 4 月 1 日、採用（平成 29 年 3 月 31 日任期終了）

伊藤 恵理さん（東京都青梅市） 松林 沙紀さん（愛知県みよし市）

○第2期隊員 平成 27 年 4 月 1 日、採用（平成 30 年 3 月 31 日任期終了）

熊谷 洋さん（東京都目黒区） 杉野 明日香さん（愛知県豊橋市）

※浦和 司さん（愛知県春日井市）H28. 1. 31 退職

○第3期隊員 平成 28 年 4 月 1 日、採用

三輪 亜希子さん（愛知県名古屋市）

○第4期隊員 平成 29 年 4 月 1 日、採用

細川 康平さん（東京都足立区） 塩原 孝介さん（長野県塩尻市）
小口 寛代さん（長野県下諏訪町）

○活動期間は、3年間

○国（総務省）の支援

次に掲げる経費について、特別交付税により財政支援

①地域おこし協力隊員の募集等に要する経費：1団体あたり200万円上限

②地域おこし協力隊員の活動に要する経費：隊員1人あたり400万円上限
（貸金・報償費等の経費に250万円）

（活動旅費、作業道具等、事務的な経費、定住に向けた研修等の経費に150万円）

③協力隊最終年次又は任期終了翌年の起業する者の起業に要する経費として1人あたり100万円上限

○本年度の活動

・南木曾を知る・・・各種イベントへの参加・地域や各種団体との交流・伝統工芸や特産品の調査・郷土料理の調査・これらを通じ南木曾町の魅力を発見し情報発信
南木曾薬草の会への参加

・空き家の再生・・・妻籠宿等の空き家片付けワークショップの開催
コミュニティスペース「ミンツク」を活用したイベントの実施
長野県元気づくり支援金を活用した「ミンツク」トイレ設置
空民家を活用した農家民宿開業の準備

・ものづくり活動・・・南木曾町の伝統工芸である南木曾ろくろ細工の技術習得を目指し、ろくろの産地で実習を行っている。

・新たな特産品づくり・・・ヤギを飼育することにより、ヤギミルクを活用したチーズの試作を行い製品化をめざし活動している

・子供へ木育の実施・・・ワークショップ形式で木育を行い、町内の子供に木と親しむ機会を設け、南木曾町の主要産業である木工等に興味を持ってもらう活動

○任期終了した隊員

伊藤 恵理さん 任期終了後も町内でアーティスト活動を行う予定であったが、諸事情により現在は中津川市に移転。南木曾町の事業には継続して関わっている。

松林 沙紀さん 姉妹都市である愛知県長久手市で市職員として就職

熊谷 洋さん 任期終了後も町内に在住し、上の原地区で農家民宿を開業し、従業員も雇用するなど順調に事業展開を行っている。

杉野 明日香さん 任期終了後も町内に在住しながら、隣接する市で仕事をしながら、なぎのこマルシェ等町の行事へも積極的に参加している。

（18）地方創生関係（平成26年度国補正予算）

平成26年11月21日に「まち・ひと・しごと創生法」が成立した。法律は人口減少に歯止めをかけ東京圏への一極集中を是正して、将来にわたって日本社会を維持することを目的としている。地方創生事業の実施と並行して、町では南木曾町地方創生総合戦略会議を設置し、南木曾町地方創生総合戦略を平成27年12月に策定した。また、検証会議を開催し総合戦略に係る事業効果の検証を実施した。

地方創生事業

・地域資源を活用した雇用創出・定住促進プロジェクト

地方創生推進交付金 1,814,236円（@①1,314,236円、②500,000円）

対象事業	①商工観光係	ろくろ活性化事業	事業費	2,628,472円
	②農林係	木質バイオマス利用意向状況調査業務	事業費	1,490,400円

○南木曾町地方創生総合戦略会議

産官学金労で構成する「南木曾町地方創生総合戦略会議」を開催し、総合戦略の見直しを行った。見直しを行うにあたって委員それぞれの見地から意見をいただき、その結果を戦略に反映した。

戦略会議開催実績 平成29年10月19日

○地方創生検証会議

南木曾町地方創生総合戦略では地方創生の各施策ごとに具体的な数値目標による重要業績評価指標（KPI）を設定し、施策の効果を客観的な指標により検証を行うこととしており、効果検証の客観性を担保するために民間企業、U・I ターン者、教育関係者などの外部人材で構成する地方創生検証会議を設置している。平成 29 年度南木曾町地方創生総合戦略に位置づけられた各事業や地方創生推進交付金事業の効果検証は、平成 30 年 6 月に行うこととした。

○若者まちづくり推進事業

南木曾町のまちづくりについて、活気あふれる町の実現、若者に夢を与えるまちづくり、並びにこれを創造する方策の検討・展開を見据え、若者の意見や考え方を把握するため、地域振興協議会長から推薦をいただいた町内の子育て世代を含む 20～30 代の男女 16 名に参加をいただき、「若者意見交換会」を開催した。この意見交換会を開催するにあたり、内部検討委員として若手町職員で構成する「南木曾 和っしょい！プロジェクトチーム」を組織し、意見交換会の実施方法・基本方針や、働きやすい職場づくりについて協議した。

「南木曾 和っしょい！プロジェクトチーム」会議	第 1 回	平成 29 年 7 月 27 日（役場会議室）
	第 2 回	平成 29 年 8 月 29 日（役場会議室）
南木曾町若者意見交換会		平成 30 年 2 月 21 日（南木曾会館）

2.行政改革関係

1 組織改革の推進

[組織改革関係]

事業名	事業内容 (16年度現在)	見直し内容	実施 年度	16年度 決算額	28年度	29年度	備 考
一般職、技能労務職員の諸手当	各種手当	管理職手当を10%削減する 管理職特別勤務手当を廃止する	H17		△ 1,385	△ 1,385	
職員福利厚生	レクリエーションなど	5割程度削減する	H17	697	△ 697	△ 697	
職員の健康管理(人間ドック)	個人負担分の補助 10,000~25,000円	限度額を10,000円とする	H17	552	△ 175	△ 257	
旅費等	鉄道賃、車賃など ・日当 1,000円	日当を廃止する	H17		△ 500	△ 500	
常勤の特別職の給与	条例で規定	町長:15%削減する 助役・教育長:13%削減する	H17	23,859	△ 4,162	△ 4,132	H28 給与条例改定により減額 (町長20%、副町長10%、教育長3%)
議員報酬	条例で規定	10%削減する	H17	25,205	-	-	H18 条例改定により基本報酬 5%削減+一時削減5% 条例定数削減に伴い、一時削減分復帰
議員定数	条例定数:14人	定数を10人とする (次回の選挙から)	H20	25,205	△ 5,874	△ 5,645	H20.4より定数10名 H24.4より9名 H28.4より10名
議員旅費、費用弁償	職員の旅費規定に準じて支給	特別委員会委員に支給する費用弁償の加算額と旅費日当を廃止	H17	477	33	212	
農業委員会の定数	選挙による委員:15人 推薦による委員:3人	選挙による委員の定数を10人とする	H17	3,726	△ 700	△ 507	平成30年2月に制度改正後に初めての改選 農業委員 11名 農地利用最適化推進委員 3名
公民館運営審議会 社会教育委員	条例定数:13人	委員数を10人とする	H19	52	124	119	10名
小学校の統合	平成17年度児童数 読書小学校 163人 蘭小学校 34人 田立小学校 59人	平成19年4月1日に3校を1校に統合する	H19	-	△ 16,192	△ 16,192	H19.4 3校を1校に統合
保育所の統合	平成17年度園児数 読書保育園 41人 妻籠保育園 15人 蘭保育園 27人 田立保育園 23人	保育所審議会の答申のとおり平成20年度以降とする (新設統合の時期は、小学校あり方審議会の動向も踏まえ、中学校改築が一段落する平成20年度以降を目標とする)	H20以降	146,008	112,366	△ 11,716	H20.4 妻籠保育園を、読書保育園に統合 H20~基金積立 H20 3,000千円 H25 60,000 H21 23,250千円 H26 45,000 H22 64,466千円 H23 60,000千円 H24 120,000千円
通園バス	読書保育園:北部・与川線、町中線 田立保育園:田立線 妻籠・蘭保育園:妻籠線、広瀬蘭	保育所の統合にあわせて検討する	H20以降	8,891	△ 491	△ 491	H19 新交通システムに移行
財産の適正管理(行政財産)	公用財産:町において、町の事務、事業に供するもの 公共用財産:町において公共の用に供するもの	現行どおり適正な管理に努める。公の施設については、直営管理施設以外のものについては、指定管理者制度への移行を検討する	H18	-	-	-	※収入実績額
小 計					82,204	△ 41,191	
小計(収入関係)							

2 事務事業の見直し

①事業内容(実施方法等)を見直したもの

[総務関係]

広報等の発行	広報なぎそ 年6回発行 館報なぎそ 年6回発行 議会だより 年4回発行	広報、議会報、館報の3紙を統合し、新しい「広報なぎそ」を発行する	H18	2,116	△ 337	△ 495	
定住化促進事業	結婚祝品、メッセージの進呈 住宅・住宅用地の相談斡旋 他	金品による援助措置は廃止する 若者まちづくり委員会は廃止する	H17	70	△ 70	△ 70	
消防団 出勤手当	出勤 4,800円/日 3,600円/回 会議 4,300円	会議出席手当の減 歳末夜警の見直し等	H17	9,600	△ 2,434	△ 2,628	
新交通システム		町でバス及び乗り合いタクシーを運行する	H19	-	59,530	60,836	業者委託料と協議会負担金の合計
小 計					56,689	57,643	

事業名	事業内容 (16年度現在)	見直し内容	実施 年度	16年度 決算額	28年度	29年度	備 考	
〔住民福祉関係〕								
人間ドック助成事業 (国保)	補助率:費用の7/10 (限度額45,000円)	最高限度額は30,000円とする	H17	338	1,722	2,099	特定検診の実施にあわせて積極的に勧奨した為、増額となった。 ※実績額	
健康診査個人負担分 補助(国保)	補助対象検査:胃、大腸、肺、子宮、乳房のがん検診	70歳以上は補助しない	H17	581	△ 66	70	H21から対象年齢70歳から75歳へ引上げ H23から前立腺がんも対象 ※実績額	
通院バス運行 路線バス高料金対策 事業 乗合タクシー助成事 業	[通院バス運行] 区間:南木曾駅⇄坂下病院 [路線バス高料金対策] 区間:町内路線バス [乗合タクシー助成] 区間:町内3地区(与川・北部・田立)	17年度は現行のとおり 18年度以降については再検討する	H18 以降	25,697	△ 25,697	△ 25,697		
外出支援事業(高齢者 タクシー券)	1枚500円24枚綴りのタクシー券を交付	1人12枚程度の交付とする(透析患者、独居等の通院困難者については、現行のとおり24枚)	H17	343	△ 235	△ 241	H18～リフトバス券含む 県補助金がなくなったため、できるだけ身障者タクシーへ移行 ※実績額	
老人日常生活用具給 付事業	火災警報機、自動消火器、電磁調理器等の給付	電磁調理器は、火の取扱いが困難な独居高齢者とする	H17	0	21	0	H18 県補助金廃止 ※実績額	
介護予防教室・機能 訓練	実施場所:町内分館 利用料:無料	利用者負担を300円とする(機能訓練)	H17	0	(10,617)	(10,654)	制度改正により町直営からNPO、病院等へ委託化。 運動機能向上教室:1,496 二次予防事業通所型:9,121	
在宅介護支援セン ター運営	運営主体:社会福祉協議会 事業:相談事業24時間対応	H18・4以降の地域包括支援センター創設に伴う見直しが必要	H18	3,286	△ 3,286	△ 3,286	社会福祉協議会への委託終了 相談事業24時間対応は地域包括支援センター業務へ移行	
行旅人の取扱い	援護費500円を旅費として支給	援護費を300円に引き下げる	H17	105	△ 73	△ 65	慰霊費含む ※実績額	
重度心身障害者タク シー利用券交付	1枚500円24枚綴りのタクシー券を交付	1人12枚程度の交付とする(透析患者、独居等の通院困難者については、現行のとおり24枚)	H17	49	191	189	H18～リフトバス券含む 補助金ができただけ、高齢者タクシーからできるだけ移行 ※実績額	
精神障害者小規模通 所授産施設「ひだまり 工房」	共同作業、就労訓練、生活訓練	経費の削減に努める	H18	16,109	△ 12,409	△ 12,409	H20.10より障害者自立支援法による運営補助に移行 ※実績額	
乳幼児・児童福祉医 療費	乳幼児の医療保険適用医療費の補助	現行6歳までの給付を満9歳(小学校3年生)まで引上げる 所得制限を廃止する	H18	3,815	2,634	2,833	H20 15歳(中学3年生)まで対象を拡大 H24 18歳に対象を拡大 ※実績額	
胸部レントゲン検診	15歳以上の住民を対象に無料で実施	対象者を65歳以上に限定する	H17	1,075	△ 596	△ 601	※実績額	
骨検診	30歳以上の住民(女性)を対象に実施	対象を40歳以上とし、70歳までの5歳ごとの節目検診とする	H18	363	△ 332	△ 328	※実績額	
インフルエンザ予防 接種公費負担金	対象:65歳以上 1,500円を公費負担	公費負担額を減額する(1,200円とする)	H17	1,865	△ 75	△ 216	※実績額	
出産祝金支給事業	支給額:第1・2子 20,000円 第3子 80,000円	1児につき20,000円とする	H17	1,560	△ 960	△ 1,300	第3子分を計上	
新生児訪問	在宅助産師による相談、アドバイス	対象者を町民に限定する	H17	80	△ 4	△ 25	※実績額	
乳幼児健診	4ヶ月、7ヶ月、10ヶ月、12ヶ月の児を対象に実施	対象者の一部見直し(12ヶ月児は対象からはずす)	H17	902	△ 358	△ 357		
離乳食講習会	実施場所:南木曾会館 毎月1回	試食以外の食材費は自己負担とする	H17	95	△ 95	△ 95	※収入実績額	
小 計						△ 39,618	△ 36,507	
小 計(収入関係)								

〔建設環境課関係〕								
環境関係地域組織 (衛生自治連合会)	町内5地区の衛生自治会の連合組織	報償費、補助金について見直しを検討する	H17	686	△ 399	△ 399		
ごみ収集業務	可燃ごみ:週2回収集 ガラス、金物類:月1回収集 粗大ごみ:年2回収集	粗大ごみについては、業者の直接回収とする	H17	147	△ 147	△ 147	H17 業者の直接回収とした	
小 計						△ 546	△ 546	

事業名	事業内容 (16年度現在)	見直し内容	実施 年度	16年度 決算額	28年度	29年度	備 考	
【産業観光関係】								
維持修繕費資材の現物支給等	農業用水路、農道維持補修に対する原材料支給	交付・支給基準の見直し	H17	898	△ 783	△ 869	※実績額	
町単水路改良事業	水路補修、改良作業に対する補助	補助率等の見直し	H17	294	1,118	△ 362	※実績額	
町単農道整備事業	農道補修、改良作業に対する補助	補助率等の見直し	H17	197	△ 197	△ 15	※実績額	
町単ほ場整備事業	小規模なほ場整備に対する補助	一般型は継続し、排水型は廃止する	H17	452	△ 452	△ 452		
農業振興支援団体	「農林業技術者連絡協議会」役場、農協、森林組合、のうさい、普及センターで組織	将来は廃止の方向で検討する	H18以降	50	△ 30	△ 30	※実績額	
有害鳥獣駆除	農林業被害防止のための駆除クマ、イノシシ、サルなど	駆除報償単価等を引き下げる	H17	3,898	1,737	2,021	※実績額 H22有害鳥獣出没大幅増	
カモシカ個体数調整事業	個体数を計画的に調整し、ひのき等の被害を予防	調整頭数の見直し	H17	1,802	△ 1,232	△ 1,232	※実績額 H28(9頭⇒10頭)	
小 計						161	△ 939	

【教育関係】								
教育相談の対応	実施場所:南木曾会館 月2回実施	社協の心配ごと相談と統合して実施を検討する 17年度は月1回	H17	196	△ 131	△ 131	月1回第2水曜日実施 ※実績額	
中学校心の教室相談の対応	年間100日 300時間	当面、年間50日150時間とし、将来的には廃止する	H17	340	△ 340	△ 340	H19 廃止 県事業で対応	
成人式	成人記念行事を開催	20歳になってからの参加とする内容を見直して実施する	H19	503	△ 295	△ 295	H18 調整のため開催せず ※実績額	
木曾妻籠健康マラソン大会	町・教育委員会主催のマラソン大会	住民主体によるマラソン大会とする	H17	900	△ 400	△ 400	H17 実行委員会主催へ移行 H20 元気づくり支援金で500千円申請 ※実績額	
公民館IT講習事業	パソコン講習会 実施場所:南木曾会館	受講料を有料とする	H17	0	-	-	※収入実績額 受講料一部徴収	
南木曾国際交流音楽会(補助金)	海外の若手音楽家によるクラシックコンサート	住民主体の音楽会として継続補助金は廃止する	H18	50	△ 50	△ 50	補助金廃止・事業開催なし	
小 計						△ 1,216	△ 1,216	

事業名	事業内容 (16年度現在)	見直し内容	実施 年度	16年度 決算額	28年度	29年度	備 考
②交付金・補助金を見直したものの [交付金・補助金関係]							
交通安全協会交付金	交通安全協会の事業運営	15%削減する	H17	700	△ 16	△ 16	
防犯協会交付金	防犯協会の事業運営	15%削減する	H17	400	△ 100	△ 100	
行政連絡組織(区運営交付金、手当)	区運営交付金 区長手当	区運営交付金は均等割及び世帯割を15%程度削減する(防犯灯管理料は除く)区長手当は10%程度削減	H18	6,981	△ 994	△ 1,484	H18 富貴畑区減 ※実績額
結婚相談(補助金)	社会福祉協議会への補助金	補助金は縮小する	H17	155	74	44	※実績額
心配ごと相談(補助金)	社会福祉協議会への補助金	実施方法の見直し	H17	108	95	138	H18 電話相談の実施 ※実績額
ボランティア育成事業(補助金)	社会福祉協議会への補助金	事業費の1/4を町が補助	H17	263	△ 241	△ 89	※実績額
福祉団体への補助金	保護司、人権擁護委員、母子寡婦福祉会など	見直し 補助金額の縮小	H17	775	△ 424	△ 424	H16まで社協間接補助 H17から町の直接補助 ※実績額
老人クラブ(補助金)	町内7クラブへの補助	補助金については削減する	H17	574	△ 208	△ 208	H18 郡県老連脱退 ※実績額
保護者会(園外行事補助金)	4保育園保護者会へ配分助成	補助金は見直す(H18 廃止する)	H17	120	△ 120	△ 120	H18 廃止
社会福祉協議会補助金	人件費、運営費補助	経費の削減に努める	H18	14,345	△ 5,745	△ 2,106	補助基準額の見直し ※実績額
町商工会補助金	経営指導に対する助成	運営補助でなく事業補助とする	H17	5,000	△ 485	△ 485	
消費生活行政推進費補助金	消費者の会への補助	事業に必要な経費のみを補助対象とする	H17	130	△ 130	△ 130	※実績額 H23.3 組織解散
ウッディクリエイト南木曽(WCN)補助金	ウッディクリエイト南木曽の運営補助	運営補助でなく事業補助とする	H17	180	△ 66	△ 84	※実績額
信州ふるさと自慢補助金	ふるさと自慢実行委員会への補助	最小限の補助で継続する	H17	100	△ 100	△ 100	H19 参加中止
観光地整備事業補助金	地域の観光施設整備への補助	補助金枠を決めて交付する	H17	2,696	△ 1,269	△ 1,716	※実績額
観光協会(補助金)	観光協会の運営補助	組織等は当面現行のとおりとし、補助金は予算の範囲内とする	H17	1,000	222	535	※実績額 (事務局雇用による)
工芸品産業振興事業補助金	伝統工芸品産業への補助(南木曽ろくろ・蘭桧笠・田立和紙)	15%程度削減する	H17	990	10	10	
資源回収事業奨励金	小中学校PTAの資源回収への補助	町の補助単価と実際の売り渡し単価との差額を補助する	H18	988	△ 361	△ 412	資源品の価格により変動する ※実績額
林業研究クラブ補助金	林業研究クラブの運営補助	補助金は廃止を検討する	H17	720	△ 570	△ 570	
住民による道路・河川等維持管理(愛護奨励金)	町道、河川の草刈・補修に対する奨励金	奨励金は5%削減する(均等割1,000円を削減)	H17	1,020	△ 51	40	
体育協会補助金	体育協会運営補助	補助金を15%程度削減する	H18	1,050	△ 150	△ 150	
分館運営交付金	分館運営交付金 分館体育活動交付金	交付金を10%程度削減する	H18	2,280	17	360	
体育活動交付金		交付金を10%程度削減する	H18	1,050	△ 104	△ 108	
南木曽コーラス祭補助金	コーラス祭への補助	補助金は削減の方向とし、金額は予算の範囲内とする	H17	90	△ 90	△ 90	H17以降開催実績なし
伝統芸能保存育成補助金(無形)	伝統芸能保存団体への補助	補助金枠を500千円程度とする	H17	850	△ 200	△ 365	※実績額 H28は(一社)地域創造助成金150千円活用
妻籠宿保存小規模修理補助金	建造物の小規模修理に対する補助	補助率10%程度削減と補助金枠の縮小	H18	507	△ 119	642	※実績額
小 計					△ 11,125	△ 6,988	

事業名	事業内容 (16年度現在)	見直し内容	実施 年度	16年度 決算額	28年度	29年度	備 考
③事業を廃止したもの							
[廃止]							
消防委員会	委員8名(議員3名、消防団3名、 消防団OB3名)	廃止する	H18	42	△ 42	△ 42	
国保無受診世帯記念 品等支給事業	無受診世帯へ記念品を支給	廃止する	H17	134	△ 134	△ 134	
敬老会	9月の敬老週間(9/15～9/22)の 前後土曜日に開催	廃止する	H17	1,851	△ 1,692	△ 1,694	H20より社協を通じて補助(100 千円)
敬老祝賀事業(祝品)	祝品を支給 (座布団、タオルケットなど)	廃止する (88歳以上の方に祝状を贈る)	H17	279	△ 164	△ 164	※実績額
訪問介護利用者負担 助成事業	訪問介護利用者の負担軽減のた めの助成	助成事業のうち、低所得者に対す る助成(4%)は廃止する	H17	27	△ 27	△ 27	24時間は継続 経過措置は廃止
介護用品支給事業 (補助事業)	紙おむつ、尿取りパッド等を現物 支給	廃止する(社会福祉協議会の事 業に統一)	H17	75	△ 75	△ 75	
食品衛生協会補助金	木曾食品衛生協会南木曾支部へ の補助金	廃止する	H17	10	△ 10	△ 10	
南木曾ふるさと祭り (補助金)	ふるさと祭り実行委員会への補助 金	ふるさと祭りを廃止する	H17	1,000	△ 1,000	△ 1,000	H17 廃止
中小企業退職金共済 掛金補助金	町内中小事業所を対象に1件 1,000円を補助	廃止する	H18	642	△ 642	△ 642	H18 廃止
住宅資金貸付、利子 補給	住宅の新築・増改築資金の貸付及 び利子補給	廃止する(H15以前貸付分につ いては償還完了まで利子補給)	H18	669	△ 669	△ 669	H18 廃止(H15以前貸付分につ いては償還完了まで利子補給)
プール開放事業	夏休みの期間、中学校プールを一 般開放	一般開放を取りやめる	H18	71	△ 71	△ 71	H18 廃止
小 計					△ 4,526	△ 4,528	
合計(歳出削減関係)						121,641	2,235

3 財政基盤の確立

[町税・使用料等]

窓口手数料	各種証明手数料 (住民票、印鑑証明など)	20%程度料金を引き上げる (300円→350円)	H17	3,630	△ 254	△ 206	収入実績額
法人町民税	法人税割:12.3% 均等割:標準税率	法人税割:12.1% 均等割:制限税率	H18	25,702	6,394	5,123	※収入実績額
固定資産税	税率:1.4%	税率:1.6% (H18=1.5% H19=1.6%)	H18	349,135	41,610	43,073	H18 1.5% H19~ 1.6% ※収入実績額
入湯税	宿泊:1日150円/人 日帰り: 50円/人	宿泊:150円/人 日帰り:100円/人	H18	8,816	659	706	※収入実績額
新交通システム使用 料		大人:300円/回 子ども:100円/回	H19	—	26,223	26,206	新交通システム運賃 ※収入実績額
保育料	所得階層区分12階層で設定	未満児:負担率を10%引き上げ る 3歳以上児:負担率を5%引き上 げる	H17	18,982	6,186	4,762	H17 保育料改定 H18 保育料改定 ※収入実績額
水道使用料	用途別制により料金設定 基本料金・超過料金	10%程度料金を引き上げる (従量制へ移行する)	H18	86,207	△ 8,924	△ 9,638	H18・H26 料金改定 ※収入実績額
量水器使用料	口径に応じて料金設定	10%程度料金を引き上げる	H18	4,871	△ 8	14	H18・H26 料金改定 ※収入実績額
下水道使用料(特環) " (農集) " (浄化槽)	用途別制により料金設定 基本料金・超過料金	8.5%程度料金を引き上げる (従量制へ移行する)	H18	36,756	17,678	18,357	H18・H26 料金改定 ※収入実績額
特定公共賃貸住宅家賃 ユーアイ住宅家賃	特定公共賃貸住宅:16戸 ユーアイ住宅:28戸 町営単独住宅:54戸	家賃を7%程度引き上げる (大島団地については水洗化とな るまでの間、据置)	H18	22,885	3,457	4,770	H18 料金改定 ※収入実績額
社会体育施設(学校 開放施設)使用料	小中学校校庭及び体育館	小中学校校庭及び体育館は新た に使用料を徴収する	H18	0	95	100	H18 使用料新規設定 ※収入実績額
小 計(収入増関係)					93,116	93,473	
影響額合計					214,757	95,708	累積合計

3. 統計調査

本年度には工業統計調査及び就業構造基本調査が行われた。工業統計調査、就業構造基本調査はインターネットでの回答が可能で、広報やCATVを用いて周知に努めた。その他、5月に学校基本調査が行われた。

その他、来年予定されている平成30年工業統計調査、住宅・土地統計調査に向けた準備事務を行った。

○平成29年度の調査内容

調査名	実施日	調査対象	調査主体
学校基本調査	平成29年5月1日	小学校1校、中学校1校	文部科学省
工業統計調査	平成29年6月1日	製造業に属する事業所	経済産業省
就業構造基本調査	平成29年10月1日	15歳以上の世帯員	総務省

※調査の結果は、町村別、項目別に公表され、各施策に活用されている。

○その他の統計関係事務

- ・平成30年工業統計調査 調査区設定
- ・平成30年住宅・土地統計調査 単位区設定
- ・平成29年度版「南木曾町の統計資料」作成

○平成29年工業統計調査【速報値】 ※H28 経済センサス-活動調査 確定値

	事業所数（事業所）		従業員数（人）		製造品出荷額（万円）	
	H28	H29	H28	H29	H28	H29
製造業	33	27	544	568	660,969	768,923